

(9)出血性胃・十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療（止血術）の施行率

分子：分母のうち、「内視鏡的消化管止血術」が算定された患者数

分母：医療資源を最も投入した傷病名が「胃潰瘍」あるいは「十二指腸潰瘍」で「急性、出血を伴うもの」に該当する退院患者数

収集期間： 250床以上 DPC 病院：平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
250床未満 DPC 病院：平成 24 年 7 月～平成 25 年 3 月

胃潰瘍・十二指腸潰瘍とは酸やペプシンなどによって胃壁あるいは十二指腸壁が障害され欠損した病態をいいます。出血性胃壁・十二指腸壁の障害部位に血管があると破綻し、出血を起こします。破たんした血管に対しては止血処置が必要であり、一般的には内視鏡的止血術が行われています。H2 受容体拮抗剤の登場以来、外科的手術は大幅に減少し、現在では大量出血や内視鏡での止血困難例、穿孔、狭窄など重篤な合併症を認めた症例に限られています。

指標 20：出血性胃・十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療（止血術）の施行率

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	34	21	61.8%
080110205	水戸済生会総合病院	15	12	80.0%
080810663	龍ヶ崎済生会病院	18	11	61.1%
082510253	常陸大宮済生会病院	15	10	66.7%
096210115	済生会宇都宮病院	73	53	72.6%
110201350	済生会川口総合病院	29	24	82.8%
120210971	済生会習志野病院	42	26	61.9%
130314757	済生会中央病院	97	66	68.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	72	62	86.1%
143103439	済生会横浜市南部病院	45	33	73.3%
150120734	済生会新潟第二病院	47	28	59.6%
160115667	済生会富山病院	34	25	73.5%
180118909	福井県済生会病院	41	25	61.0%
224160042	静岡済生会総合病院	39	28	71.8%
240705053	済生会松阪総合病院	61	39	63.9%
251200194	済生会滋賀県病院	59	32	54.2%
271607149	済生会千里病院	42	29	69.0%
272701586	済生会泉尾病院	17	13	76.5%
274406135	済生会野江病院	44	28	63.6%
274900723	済生会富田林病院	15	13	86.7%
279600070	済生会中津病院	43	40	93.0%
279600153	済生会吹田病院	25	15	60.0%
300112641	和歌山病院	16	10	62.5%
301610197	有田病院	12	4	33.3%
338800012	岡山済生会総合病院	71	54	76.1%
343111190	済生会広島病院	25	10	40.0%
350116357	済生会下関総合病院	35	19	54.3%
350310141	済生会山口総合病院	30	15	50.0%
380110282	松山病院	19	8	42.1%
380228159	今治病院	14	13	92.9%
401119189	済生会福岡病院	63	47	74.6%
419810713	唐津病院	30	26	86.7%
438211911	済生会熊本病院	105	88	83.8%
461510084	川内病院	19	14	73.7%
	合計	1411	990	70.2%

* 分母が 10 症例未満の病院数：15

指標 20：出血性胃・十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療（止血術）の施行率

